

新型コロナウイルスが引き起こした社会問題に関する報道内容と地理空間上の分布に関する研究

酒井信*

*明治大学国際日本学部・国際日本学研究科

1. 研究目的・概要

本研究はサイバースペース上に構築される多次元・多解像度の地球（デジタルアース）の研究開発において、主として社会科学に関わる問題を表象する情報・データの収集・蓄積を行い、デジタルアース上において、俯瞰的に分析することを目的とした。特に新型コロナウイルスのパンデミックが引き起こした「社会的な分断」に関する報道内容について、その量と質の分析を行い、記事内で言及されている地名について3階層（都道府県、市町村、町名）に区分したメタデータを抽出し、有事における情報発信・伝達のあり方、世論の動向について分析を行った。本研究により新型コロナウイルスによる感染者数や死者数など医学的な被害と異なる「社会的な被害」を俯瞰的に可視化することを目的とした。

なお社会的な分断に関する研究は、新型コロナウイルスが引き起こした社会的な問題に関する研究において一般的なものである。有事における社会的な分断は、既存の経済格差や政治的な立場の違いを鮮明にし、流言・デマやを主たる要因として拡大する。本研究は Twitter 等、利用者の年齢が若年に寄った速報性の高いメディアではなく、マス・メディアの「情報の元栓」である新聞報道の分析を通じたオーソドックスなメディア研究として位置付けることができる。

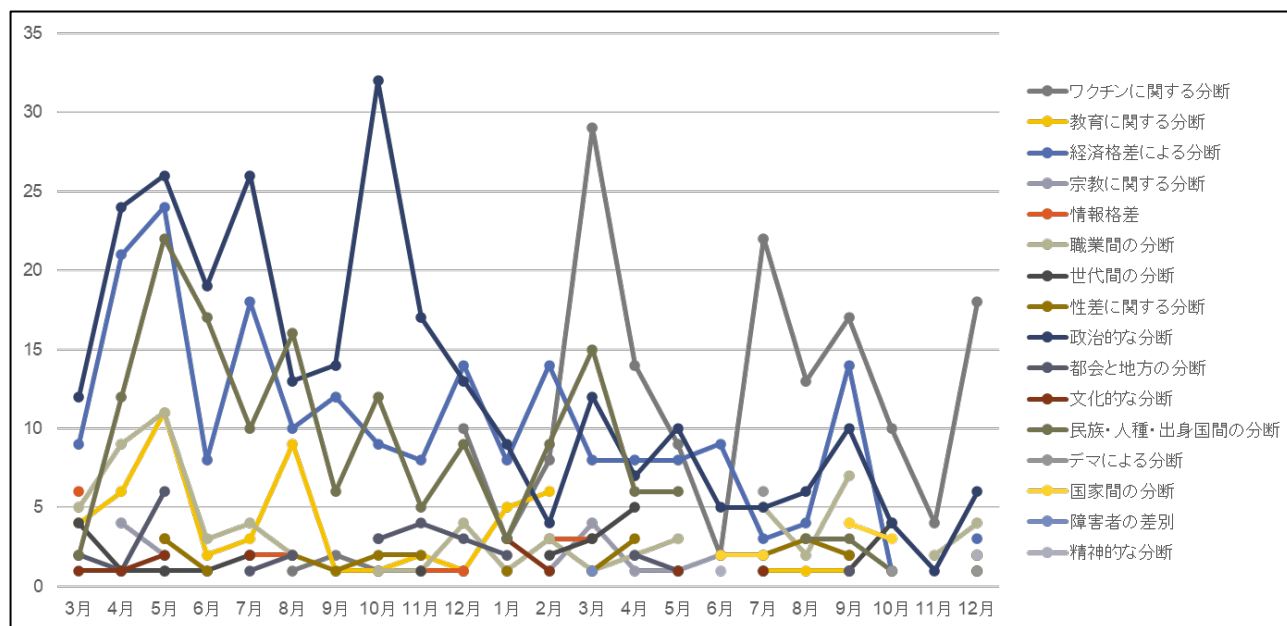


図1 Covid 19 divide(or division)が含まれる The New York Times の報道数の推移（2020-2021）

2. 「問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点」における研究の位置付けと貢献内容

本研究は「問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究拠点」において、Phase I の「サイエンス・コミュニケーション・システム開発」に位置付けられる内容であり、Phase II の「設計科学」「持続可能な都市・地域の実現」に寄与する研究を包含した研究でもある。関連するSDGs目標は、「7 Affordable and Clean Energy」, 「11 Sustainable Cities and Communities」, 「15 Life on Land」である。

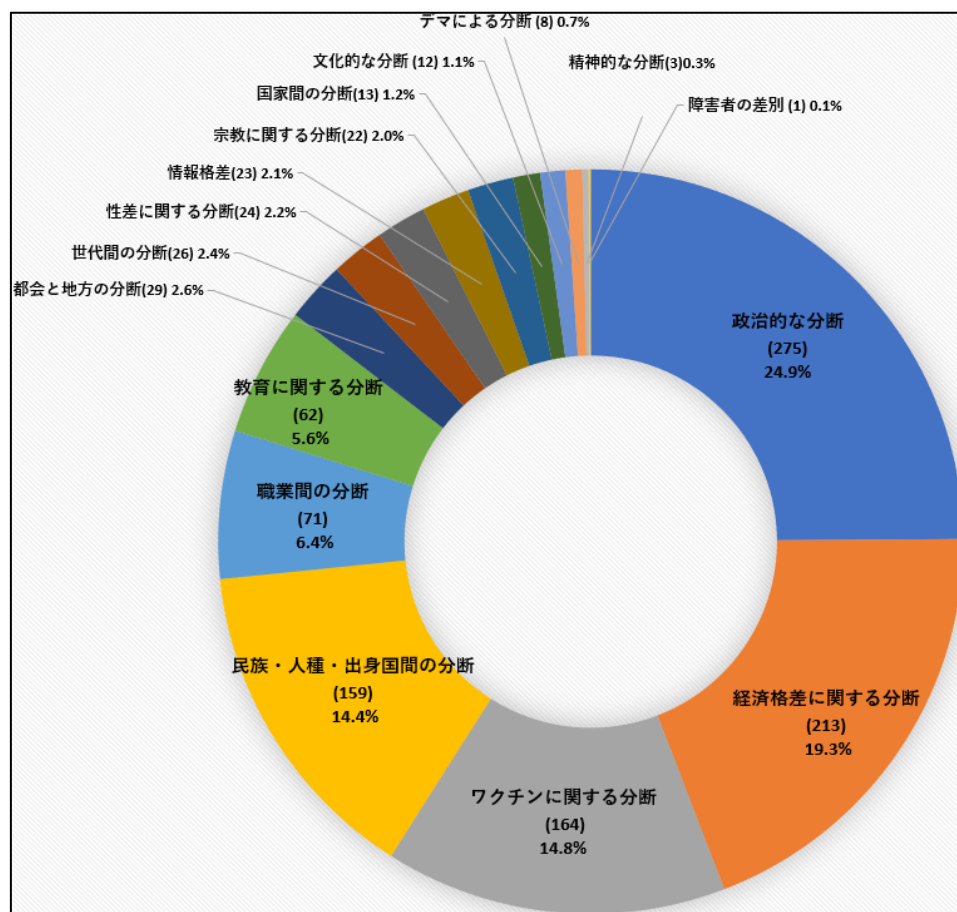


図3 Covid 19 divide(or division)が含まれる The New York Times の記事内容の分析結果
(2020年1月1日～2021年12月31日総計)

5. 研究結果と報道傾向の分析 (2020年 710記事)

2020年は「政治的な分断」に関する報道が多かった。また「経済格差による分断」に関する報道も多く、3番目に「民族・人種・出身国間の分断」に関する報道が多かった。2020年は米国の大統領の交代に伴う政治関連の報道が多かったと言える。バイデン大統領が当選する結果となった米大統領選挙の前後の報道として、パンデミックが政治的な分断を加速させたという報道内容が多かった。

政治的な分断 (2020-21 総計 275 件 24.9%) に関する報道例として次の記事を代表的なものとして挙げる事ができる。

2020/3/27 Pandemic Sharpens Contrast Between Parties on Health Care

2020/11/3 Pandemic Shadows the Final Appeals From Trump and Biden

経済格差による分断 (2020-21 総計 213 件 19.3%) の報道例として次の記事を代表的なものとして挙げる事ができる。全体に新型コロナウイルスのパンデミックが貧富の差を拡大させたという報道内容が多かった。

2020/3/16 The Poor Are Harder Hit By the Spread of Disease

2020/12/31 What Biden And Harris Owe the Poor

民族・人種・出身国間の分断 (2020-21 総計 159 件 14.4%) の報道例として次の記事を代表的なものとして挙げる事ができる。全体に新型コロナウイルスのパンデミックが民族間の差別を拡大させたという報道内容が多かった。

2020/6/3 We Need A Vaccine For Racism ※ジョージ・フロイド殺害事件後の報道
2020/12/27 The Place Hit Hardest by the Virus

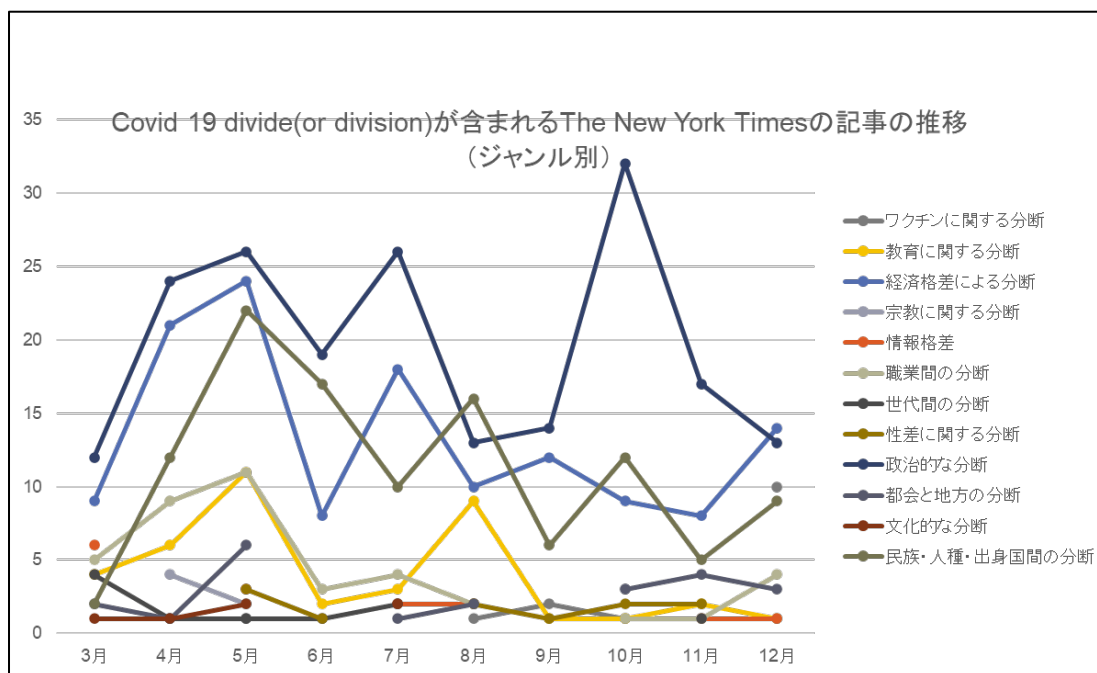


図4 Covid 19 divide(or division)が含まれる The New York Times の報道数の推移 (2020 年)

6. 研究結果と報道傾向の分析 (2021 年 540 記事)

2021 年は「ワクチンに関する分断」が多かった。2021 年度はワクチンに関する分断が、政治的な分断、経済格差による分断、民族・人種・出身国間の分断に関する報道量を大きく上回った。また新型コロナ禍が長引くにつれて、職業間の分断について数多く報道されるようになった。

ワクチンに関する分断 (2020-21 総計 164 件 14.8%) に関する報道例として次の記事を代表的なものとして挙げる事ができる。ワクチンが不足していた時は、貧富の差が問題となり、ワクチンの供給量が高まった後は、反ワクチン運動やワクチン接種をしていない人の公共性を巡る問題について数多く報じられた。

2021/2/3 Where Poor Suffer Most, Wealthy Find Vaccines

2021/5/1 In Rural America, the Shot Divides Communities

2021/11/26 Holiday Shopping Amid Unvaccinated Workers

職業間の分断 (2020-21 総計 71 件 6.4%) の報道例として次の記事を代表的なものとして挙げる事ができる。ロックダウンの影響を強く受けた飲食業・小売業などの職業や、在宅勤務ができない職業、エッセンシャルワーカーの不足に関する問題について、数多くの記事が報じられた。

2021/2/19 Hurt by Lockdowns, California's Small Businesses Push to Recall Governor

2021/9/22 They Never Could Work From Home. These Are Their Stories.

2021/12/3 New York Hospitals Are Overwhelmed as COVID-19 Cases Surge

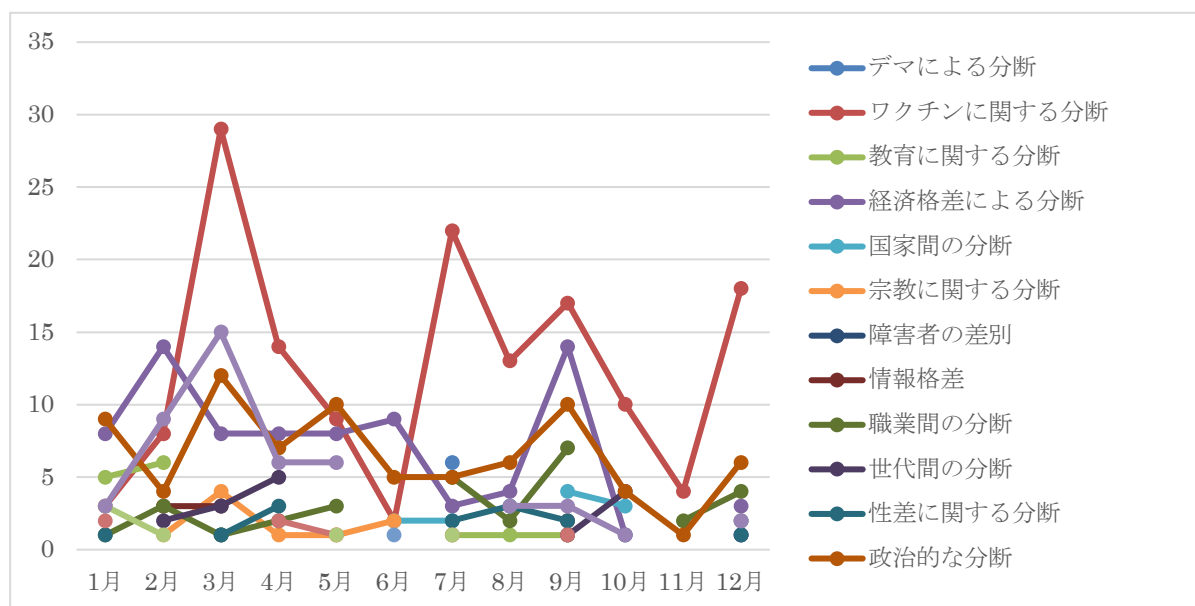


図5 Covid 19 divide(or division)が含まれる The New York Times の報道数の推移 (2021 年)

7. 研究結果と報道傾向の分析 (地域別)

全体の推移を見ると「政治的な分断」から、「ワクチンに関する分断」に報道の力点が移行していることが分かった。新型コロナ禍が長引くにつれて職業間の分断に関する報道量の増加が顕著になった。

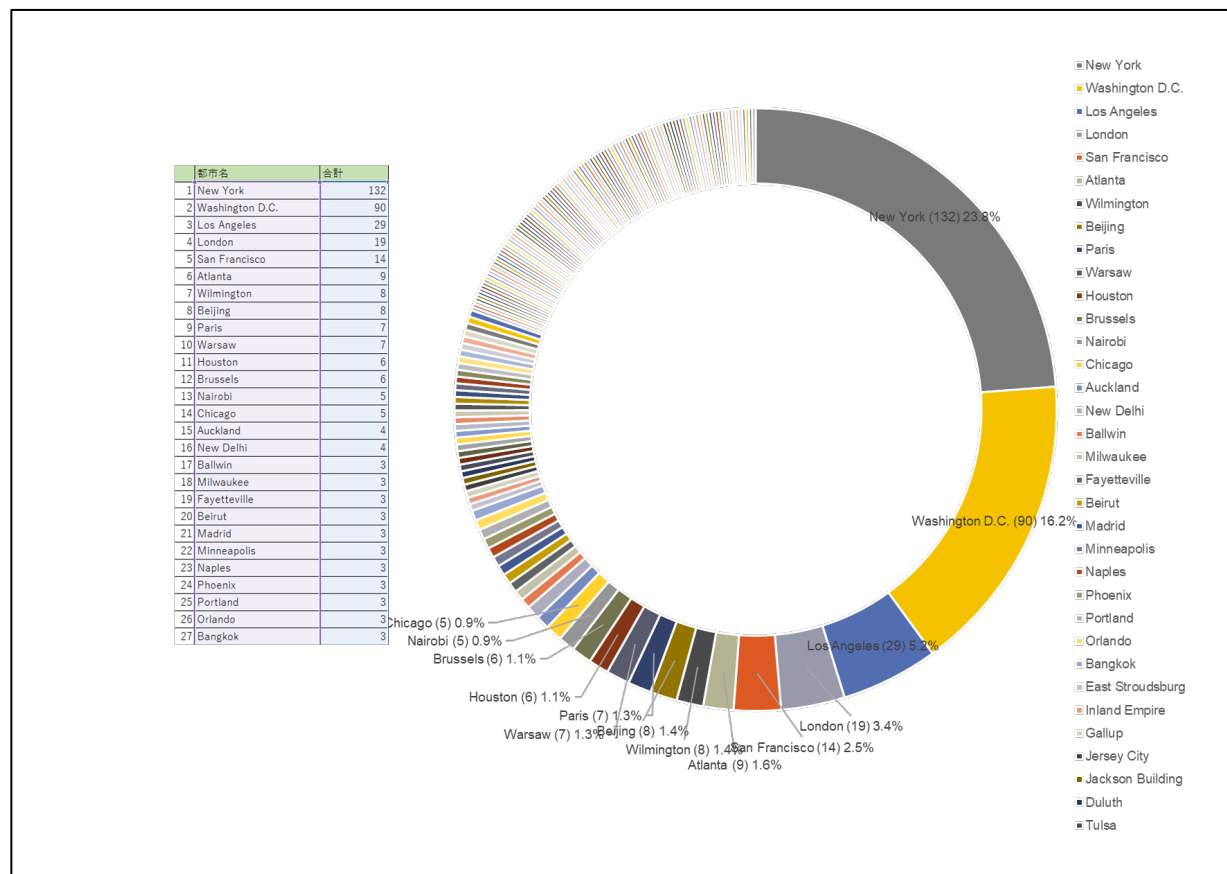


図6 Covid 19 divide(or division)が含まれる The New York Times の記事内容の分析結果 (市町村別)

日本の「社会的な分断」に関する報道例として次の記事を代表的なものとして挙げる事ができる。日本でマスクをする慣習があることや、在宅勤務で日本の男性の家事との向き合い方が変化するという報道や、アジアでワクチン接種が進み、米国でワクチン接種が伸び悩んでいることに関する報道などが特徴的だった。

2020/4/10 Wearing Masks, Common in Asia, Rises in the West

2020/5/17 Japan's Men See Real Meaning of Domestic Bliss

2021/10/1 Asian Nations Ahead of U.S. In Inoculations

8. 今後の研究課題

過去の研究成果を踏まえ、今後はThe New York Timesの「社会的な分断」に関する報道内容の分析結果を日本のメディアや他国のメディアの報道と比較することで、有事における情報発信・伝達のあり方、世論の動向について国際的な比較分析を行う予定である(3)。新型コロナ禍の社会動向について「社会的な分断」に限らず、地名に特化した解析・分析を行うことで、日本など特定の地域の情報発信・世論形成の動向について分析を深めていきたい。

なお今年度の研究成果の一部として下記の論文・記事を発表した。

論文「COVID-19 と社会的な分断に関する報道分析とその方法論の研究」「マス・コミュニケーション研究」第99号、日本マス・コミュニケーション学会（現・日本メディア学会）、2021年7月

新聞記事 「コロナ感染巡る報道 個の死、伝えた米英／日本は「匿名志向」」毎日新聞（22年1月24日朝刊）

9. 謝辞

本研究は中部大学問題複合体を対象とするデジタルアース共同利用・共同研究 IDEAS202103 の助成を受けたものです。

10. 参考文献・データ

(1) 明治大学図書館 オンライン情報源 ProQuest New York Times

<<https://www.meiji.ac.jp/library/search/e-resource.html>>

(2) 酒井信（2021）「COVID-19 と社会的な分断に関する報道分析とその方法論の研究」「マス・コミュニケーション研究」第99号、日本マス・コミュニケーション学会（2022年より日本メディア学会に名称変更） pp. 15-27

(3) 酒井信（2015）「福島第一原発事故後の原発先進国のメディア報道の比較分析」『情報の科学と技術』65巻1号（一般社団法人情報科学技術協会） pp. 27-33.